

県立病院における新型コロナウイルス感染症への対応状況

1 新型コロナウイルス感染症患者等への対応

(1) 関連外来の設置・運用【総合病院】

- ① 帰国者・接触者外来 (R2年2月17日～実施 ※2月25日～時間外休日対応)
- ② トリアージ外来 (発熱外来) (R2年5月7日～運用)
- ③ 地域外来・検査センター (R2年6月1日開設 9月14日～医師会医師による対応)
守山野洲医師会と協働で地域のクリニックからの紹介患者の検査を実施
- ④ 湖南広域休日急病診療所のバックアップ(輪番)外来 (R2年11月15日～R3年5月30日)
PCR検査等が必要な患者の紹介を受け、診療・検査を実施
小児患者にあっては、小児保健医療センターの医師・看護師が待機して対応

〔関連外来等における検査実績 (R3年6月30日現在)〕 4,505件 (③:371件 ④:17件)

(2) 検査体制の整備【総合病院】

R2年7月1日～ 院内PCR検査開始	}	検査実績 (R3年6月30日現在) 893件
R3年2月8日～ 行政PCR検査の院内実施		

(3) 入院患者の受入状況【総合病院・精神医療センター】

総合病院

- R2年4月16日～受入開始 (5床 → 19床 (R2年6月2日))
→ 第1波
- R2年8月18日～受入病床の拡大 (22床)
→ 第2波 入院患者のピーク 19人 (R2年8月31日)
- R3年1月8日～受入病床の拡大 (27床)
→ 第3波 入院患者のピーク 27人 (R3年1月14日)
- R3年1月25日～受入病床の拡大 (36床)
※重症化対応は、当面2床から開始し最大4床
- R3年4月後半～ → 第4波 入院患者のピーク 33人 (R3年4月24日、5月27日)

〔入院患者数 (R3年6月30日現在)〕 353人

◎患者の状況

- | | |
|----------------------|------------------|
| ・重症患者4人 | ・人口呼吸器挿管2人 |
| ・認知症や寝たきりなど介護の必要な高齢者 | ・日本語の話せない外国人 |
| ・挿管できない高流量酸素を要する重症者 | ・幼児、小児などの低年齢児 |
| ・宿泊療養施設から体調悪化した患者 | ・他の基礎疾患を有する患者 など |

精神医療センター

- R2年8月8日～措置入院・医療保護入院等を要するコロナ患者の受入病床確保 (1床)
R3年1月4日～受入病床の拡大 (2床)

(4) 医療従事者の派遣等【3病院】

- ① **3病院** 東横イン彦根への看護師派遣 (R2年9月・11月～12月 計10名)
- ② **総合** 大阪コロナ重症センターへの看護師派遣 (R2年12月～R3年2月、R3年5月計3名)
- ③ **総合** 草津第一ホテルへの医師派遣、看護師支援 (R3年2月～6月)
- ④ **小児** 保健所への保健師派遣 (R2年5月以降、必要時に1名)

2 ワクチン接種への対応

(1) 総合病院 (基本型接種施設)

- ① 院内従事者 (委託業者等を含む) への接種
約1,400人 (R3年3月16日～R3年5月19日)
- ② 関連医療機関等へのワクチン配布
小児保健医療センターや精神医療センターなど連携型接種施設へ配分
- ③ 地域の医療従事者等への接種
守山市、草津市の一部のクリニックや薬局、消防署の救急隊員等
約900人 (R3年5月15日～R3年6月13日)
- ④ 実習を行う看護学生等への接種
約300人 (R3年6月15日、R3年7月6日)

(2) 小児保健医療センター・精神医療センター (連携型接種施設)

- 院内従事者 (委託業者等を含む) への接種
- 小児保健医療センター 約300人 (R3年4月9日～7月2日)
 - 精神医療センター 約200人 (R3年5月11日～6月17日)

(3) 県の大規模接種施設等への医師派遣

- ① 大津市の集団接種会場 (小児保健医療センター・精神医療センター)
(期間) 6月15日～7月31日
(場所) 琵琶湖グランドホテル
(人数) 1名/日 ※小児・精神が交替で派遣

② 県大規模接種への医師派遣 (総合・小児・精神)

	総合病院	小児保健医療センター 精神医療センター
期 間	7月10日～12月24日	8月1日～12月24日
場 所	彦根会場 (滋賀県立大学)	大津会場 (Oh!Me 大津テラス)
人 数	1名/日	1名/日 ※小児・精神が交替で派遣